

様式第1号(第7条関係)

令和6年4月〇〇日

南相馬市長

申請者 所在地 福島県南相馬市原町区本町二丁目27  
名称 株式会社 MINAMISOMA  
代表者名 代表取締役社長 南相馬 太郎  
電話番号 0244-24-5326  
法人担当者氏名 〇〇 〇〇

## イノベ重点分野開発ネットワーク構築支援事業補助金交付申請書

南相馬市イノベ重点分野開発ネットワーク構築支援事業補助金交付要綱第7条の規定により、下記のとおり補助金の交付を申請します。

## 記

## 1 補助事業に要する経費及び助成金交付申請額

- (1) 補助事業に要する経費 14,000,000円  
(2) 補助金交付申請額 9,333,000円 ※千円未満切り捨て

## 2 添付資料

- (1) 事業報告書(様式第2号)  
(2) 複数年度事業計画書(様式第3号) ※1  
(3) 収支精算書(様式第4号)  
(4) 本補助金採択審査委員会において採択されたことが分かる書類の写し ※添付不要  
(5) 見積書等、経費が確認できる書類  
(6) 申請者の定款(団体にあつては、会則等、定款に準じる規約)  
(7) 投資契約書等、投資事実を確認できる書類 ※2  
(8) その他市長が必要とする書類

※1 2年間の継続事業として申請する者に限る。

※2 ベンチャーキャピタル等から資金調達を行っている者に限る。

## 事業計画書

事業者名	株式会社 MINAMISOMA	
担当者名	〇〇 〇〇	
連絡先 (電話番号等)	電話：〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 メール：×××@×××	
事業名	次世代型コミュニケーションロボットの開発	
事業実施期間	令和6年6月15日 ～ 令和7年3月31日	
事業の目的	本事業では、音声や動作などの手段を使った人とのコミュニケーション機能の他に、掃除や配送などの機能を加えた次世代型コミュニケーションロボットを開発することで、高齢者介護等の業務量削減に役立てることを目的とする。	
事業の概要	次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』のプロトタイプの開発を行う。1年目は、ソフトウェア、機構の設計・開発を行い。2年目は、外装のデザイン設計・製作、安全性の確認のための実証を行い、適宜改良を行う。	
実施予定(計画)		
年 月	内 容	備 考
令和6年6月～	南相馬事務所の設置	市内空き事務所を改修
令和6年7月～	ロボットの設計、ソフトウェアの開発	一部設計を(株)△△システム開発に委託
令和6年10月～	部品の調達、加工、組み立てを行う	〇〇金属(株)に部品の加工、組み立てを(株)〇〇工業に委託
令和7年3月	コミュニケーションロボット「ミナボくん1.0」完成	

## 備考

- 1 欄が足りない場合は、適宜追加してください。
- 2 実施予定(計画)は、申請年度に実施するもののみ記載してください。

複数年度事業計画書

1年目実施概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南相馬市への拠点の設置</li> <li>・Chat-GPT等AIを活用したおしゃべり機能の開発。</li> <li>・ロボットの機構を設計。</li> <li>・プロトタイプ用の部品発注、組み立てを行う</li> <li>・プロトタイプの動作確認。</li> </ul>		
	想定連携企業 ※	(株)〇〇工業、□□金属(株)、(株)△△システム開発	
	想定成果物	コミュニケーションロボット『ミナボくん1.0』	
2年目実施概要	<p>1年目に作成したプロトタイプの実証実験を進め、商品化のためのブラッシュアップを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外装のデザイン、製作。</li> <li>・実証実験</li> <li>・実証実験の結果を受け、適宜部品の改良や機構の設計の見直しを行う。</li> </ul>		
	想定連携企業 ※	(株)〇〇工業、〇〇金属(株)、(株)△設計、介護関係事業者	
	想定成果物	コミュニケーションロボット『ミナボくん2.0』	
想定経費 (千円)			
	全体経費 (税込)	補助対象経費	補助金申請額
1年目	14,000	14,000	9,333
2年目	16,000	16,000	7,500
合計	30,000	30,000	16,833
開発品の市場性 ・ 補助事業終了後の展望	<p>少子高齢化に伴い、介護業界は人手不足に悩んでいる施設が多くあります。次世代型コミュニケーションロボット『ミナボくん』を導入することで、介護職員の業務の一部を任せることができ、業務負担を軽減することができることから、介護業界において需要があるものと考えています。</p> <p>また、量産化を視野に入れ開発を続け、引き続き地元企業に部品等の発注を行う予定です。</p>		

※ 具体的な企業が決まっていない場合は、具体的な業種を記載すること。

様式第4号(第7条関係)

収支予算書

1 収入 ※ 千円未満切り捨て

区 分	事業予算額	説 明
市補助金	9,333千円	
自己資金	4,667千円	
合 計	14,000千円	

2 支出 ※ 千円未満切り捨て

区 分	支出予定額	説 明
部品調達費	6,900千円	ロボット部品の原材料費及び加工費
拠点設置費	3,000千円	事務所改修費、エアコン、暖房機器購入費
設計費	1,500千円	ロボットの機構の設計委託費
調整費	2,500千円	ロボットの組み立て及びメンテナンス委託料
調査費	100千円	開発に必要な資料の購入費
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
	千円	
事業予算額	14,000千円	

備考

- 欄が足りない場合は適宜追加してください。
- 千円以下の金額については、切り捨てた額を記入してください。